

# 生成AIによるデータマネジメント 高度化支援

## 生成AIで実現するデータ品質の向上・メタデータ拡充

データドリブン経営が注目されるなか、企業内の膨大なデータを積極的に活用しようという取組みが活発化しています。たとえば、経営層の意思決定を支える「経営ダッシュボード」や、非エンジニアの社員がツール活用等により自ら簡易的な業務アプリケーション等を開発する「市民開発」などの取組みです。一方、高品質かつ使いやすいデータを整備するには膨大なコストと労力を要するため、データ活用による効果を得る前にデータマネジメントの取組みそのものを断念するケースが散見されます。KPMGはデータマネジメントを阻む課題に対して、生成AIを活用することにより解決の道筋を示し、組織内のデータ活用推進を支援します。

### 従来のデータマネジメント\*1の課題と生成AI活用によるブレイクスルー

近年、データドリブン経営志向が一段と高まったことで、改めて企業がデータ活用に取り組む事例が増えています。経営の意思決定からカスタマーサポートまで、データ活用のユースケースは増加傾向にあります。データを活用して効果を得るためには、ニーズに応じたバリエーションのある十分な品質と量のデータを確保することが欠かせません。

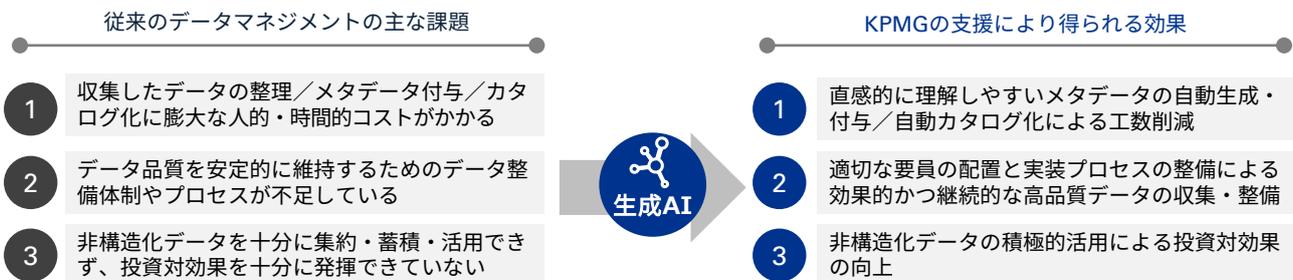
一方、企業の多くは、データを活用する準備段階の「データ整備」において最初の課題に直面する傾向があり、以下のようなケースが見られます。

①収集したデータの整理／メタデータ（付随情報）付与／カタログ化に膨大な人的・時間的コストがかかる

②データ品質を安定的に維持するためのデータ整備体制やプロセスが不足している

③企業が保有するデータの大部分を占め、昨今のデータ活用において最も有用と考えられる非構造化データ\*2が、分析可能な電子データとして十分に集約・蓄積・活用できていない

これらの課題に対してKPMGは、高品質かつ各企業にとって使いやすいデータの確保を、低コスト・低労力で実現する仕組みづくりをサポートします。データ整備に割くりソースを抑えつつ、ビジネス価値の向上が期待できます。



\*1 データマネジメント：データを整備し、活用へつなげる一連の取組みを「データマネジメント」と総称する

\*2 非構造化データ：事前に整形されず元の形式のまま保存されるデータ。メールやチャット等のテキスト、画像、音声、動画、センサーログ等が該当する

## KPMGの支援

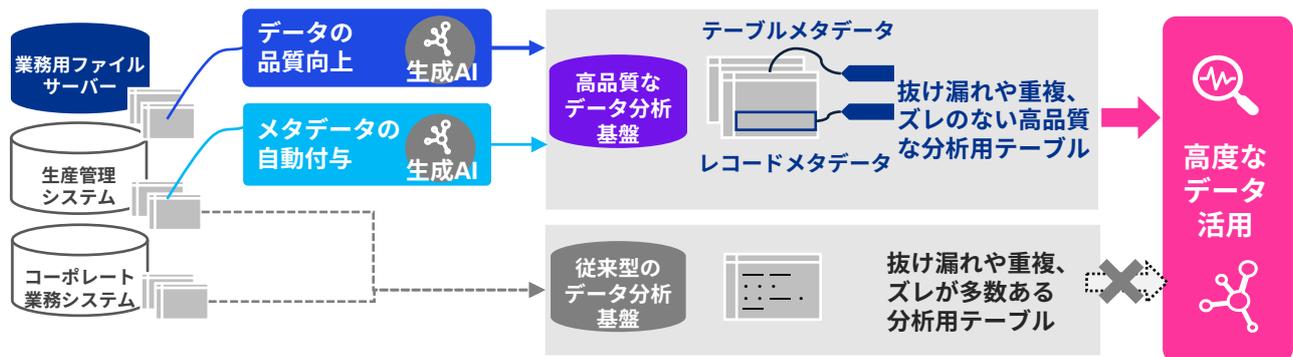
従来は目検確認と手作業による修正が主流だったデータの抜け漏れや重複、ズレ等を生成AIにより自動的に検知し、メタデータを生成・付与／カタログ化できる管理態勢を構築します。

生成AIが、人間が直感的に理解しやすいメタデータをリアルタイムに生成することで、効率的なデータ整理・カタログ化を実現します（課題①）。また、この実現に最適なデータ整備体制（要員）およびプロセスを実装し、効果的

かつ継続的な高品質データ収集・整備の仕組みを構築します（課題②）。生成AIを活用するため、構造化データに限らず、契約書や業務文書等の非構造化データにも効果を発揮し、投資対効果の向上が期待できます（課題③）。

企業内に散在する重要情報を自動的に整理・カタログ化し、高品質データとして統合することで、企業のあらゆる部門が活用しやすい形で情報を共有することが可能になります。

### 生成AI活用によるメタデータの自動付与のイメージ



### 支援ステップ

3ステップでデータマネジメントの高度化を支援します。

#### (1) 設計

既存のシステムアーキテクチャやデータリネージ、データ利用状況等を確認し、業務利用しやすいデータカタログやメタデータ、データ品質基準を検討します。これを踏まえ、生成AIを活用したデータ整備プロセスおよびデータ整備体制を設計します。

#### (2) 生成AIの組み込み

構造化データおよび非構造化データのそれぞれに対して、

生成AIを用いた品質向上とメタデータ付与・カタログ化の仕組みを構築します。構造化データは既存のデータレイクやDWH（データウェアハウス）、分析基盤を活用し、非構造化データは業務用ファイルサーバー等からデータを収集・管理します。

#### (3) データ整備プロセスの実装

ステップ2で組み込んだ生成AIデータ整備基盤を取り込み、データ整備プロセスを実装します。



#### 設計

- ◆ システムアーキテクチャやデータリネージの確認
- ◆ 業務利用しやすいデータカタログやメタデータ、データ品質基準の検討
- ◆ 生成AIを活用したデータ整備プロセス・データ整備体制の設計



#### 生成AIの組み込み

- ◆ 生成AIを用いた品質向上とメタデータ付与・カタログ化の仕組みを構築
  - ✓ データ基盤および各システムの接続
  - ✓ 構造化データ／非構造化データの連携・収集・管理
  - ✓ プロンプトエンジニアリング、効果検証 等



#### データ整備プロセスの実装

- ◆ 生成AI活用によるデータ整備プロセスの実装（データ整備体制を含む）

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

## KPMGコンサルティング株式会社

T: 03-3548-5111

E: kc@jp.kpmg.com

kpmg.com/jp/kc

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するように努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2025 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. C25-1017

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.